（昭和五年三月三十一日第三種郵便物認可）　新いわき　昭和十四年三月二十四日　【金曜日】　第二千五百八十一號　【一】

二千四百名に贈る
感謝狀の傳達贈呈
消防協會主催の殉職者慰靈公會堂で名殘の幹部會

平消防組の解散式を來る廿九日に行はれることは既報したが平署では當日午前十一時から市公會堂に管下消防幹部會（小頭以上約四百名）を開き更に石城消防協會と平消防組の合同主催で殉職組員の慰靈祭を擧行し且つ多年消防に努力された勤續功勞十年以上三十年未滿千三百餘名に對する知事及び警察部長の感謝狀、五年以上十年未滿の勤續約一千名に對するもの並びに消防顧問百名へ平署長の名を以て贈る感謝狀の傳達贈呈式を擧げたる後多年經驗を積める消防訓練が新設される警防團下に火水災その他の急事に當る諸般の活動を從來より以上に擴充すべく打合せをなすと

主恩を忘れぬ松睦會の美擧

平市新川町大室屋事松崎長三郎商店の發成店員は三十余名を算し何れも市內外縣下及び茨城等に於て成功してゐるが此の人々によつて成る舊主の恩義を忘れない「松睦會」は每年相寄つて往時を語り合つてゐる今年は前主の七回忌なので此の程會長吉野健吉（磯原）氏外全部參列現主を圍んで其の追悼會を行つたが時局柄經費を節して得たる金十五圓を第一線に起つ勇士の慰問費に寄附した

盜名詐欺漢の後報
鈴木の妻にも共犯
妻子を置去る酒谷に女給の妻
昌雄の生活は月百圓以上

石城郡豊間村の豊間字八幡街生れ鈴木昌雄（四六）號默鐘を主犯とする酒谷四郎（四三）管野菊三郎（四三）三名共謀の數ケ年に亘る本縣出身京阪名士荒しの詐欺事件は昨報の如く平署菊地部長刑事苦心の探査で遂に檢擧されたが同一味の犯爲は相當擴範圍に亘るもので其の後の自供に神田區神保町三川合同砂利會社々長馬上忠平氏（小名濱町出身）に昨年十月佐藤作平氏の名を騙り電話したる後女給を使つて百圓を詐欺したる外數件の泥を吐いた主魁鈴木の生活は西巢鴨に二階建月二十圓に住み島根縣生れの元女給鈴木ふみ子（三五）との

邊刑事身柄引取りに向つたが東京西巢鴨に於ける鈴木の住み家には氏名詐稱に使ふ二十餘の名刺があり雜誌經濟タイムス外縣下三新聞の關係者であるが如く裝ふ福島民報の吉田乃至福島民友の何々と全然あらぬ名を以て廣告詐欺を働いてゐるなど手を變へた種々な詐欺收入が彼れ等の生活費となつてゐたものである

同棲の間に三人の子供があり家具家財も相當なもので一ケ月少なくも百圓の生活費を想像され去る二十日鈴木が逮捕されたるに前後して東京市內の見取圖らしいものを取調べ中の刑事に發見されるや逸早くこれを丸めて嚥下せんとしロに入れたものを奪はれたが該圖は酒田の住む四谷區花園町に於ける隱れ家の指導圖であつたなど妻ふみ子も共犯と睨まれ來る廿五日頃平署に召喚の模樣であつて酒谷は平市舊城跡一一に妻と五人の子女を置き去りて之れを顧みず前記四谷の隱れ家に美術學校出身の妻家某の內緣妻であつた新宿のカフエー女給長野縣生れの高見澤まさ子（二八）を圍つてゐた尙ほ酒谷の本籍は双葉郡長塚村である

縣下にも連絡の手先
原野外一名檢擧さる
鈴木が持つ廿數枚の僞名刺
縣下三紙の名で廣告詐欺

昨日の米共販相場
一俵で五錢方下落
出荷千二百四十三俵の競札
先行き下値向を語らる

最高十三圓四十五錢と前回の同十三圓七十三錢に八錢の差があり通じて五錢方の下落を呈し先き行き豫想は尙ほ下値向きを語られてゐる

日の丸と五色の旗
仲よく樹つ武漢
留守宅迄の御厚情

平市上平窪出身　根本達夫

後共統後の御後援を御願いたします、小兵は相變らず元氣にて先輩に劣りたくないと努力いたして居ります末筆ながら皆々樣の御健康を御祈り申上げます　敬具

戰歿將士の慰靈祭で十一圓寄附

平市字田町一九横山美雄氏等は今次事變の戰歿將士の慰靈祭を市內マルトモ樓上に於て執行し鶴田廣隆師を聘んで營んだ同費の節約から得た十一圓を金五圓也平市軍事後援會へ金六圓を證資新聞が添つて

石城の麥作況
例年に大差なし

縣農試石城分場に於ける冬作（麥）の春分作況は早生種が例年より稍劣るも中晩種は前年に大差ない成績であると

磐女生の献金

縣立磐城高女四年の四組生一同は卒業に際して送別會費を節約して金一圓三十二錢を千葉とし子さんの代表で恤兵費に献金を廿二日平市役所に寄託した

小名濱町會

石城郡小名濱町に於ける新豫算その他に關する町會は去る十九日內示說明で散會したが明後二十五日本會を開くと

支那單語

夜中のことは半夜裏でバンイエーリー、晝夜を白天バイテイエン、夜または晚は夜裏でイエリー、夜或は夕の場合は晚上でワンシアン朝のことは早起でツアオチーと稱してゐる、

▲平倉庫六一俵（十三圓六十五錢）神谷一號九二俵（六十二錢）同二號二五俵（不調）亞野二六八俵（五十錢）同二號三四俵（不調）飯野六二俵（十三圓五十六錢）同斷不調）高久一四四俵（五十五錢）同二號八八俵（六十錢）同三號双葉来六〇俵（止値に至らず不調）大野一號一一九俵、同二號一二〇俵同三號一二〇俵（共に十三圓五十一錢）圓四號五〇俵（

恤兵へ九十九錢

平市內五丁目一の馬目宗平さんは金九十九錢を昨二十二日恤兵献金方市役所に寄託する

藤田校卒業式

平市藤田女學校の第五十四回卒業證書授與式は來る二十五日午前九時擧行されるが同校では例年の如く卒業製作品を陳列し一般の觀覽に供すると

植田校の同窓會

石城郡植田小學校同窓會では明二十四日午前九時から同校の講堂に總會を催し時局下に應はしい劍道試合その他會員の演藝などがあると

學校荒しの
余罪倉庫破り

石城郡豊間村の豊間字八幡町鈴木勝雄（二八）假名が去る十日の陸軍記念日に同村小學校が講演會を開催全部講堂にある職員室の不在に忍び現金數圓を窃取檢擧されたことは既報したが餘罪取調べの結果本年一月中郡內江名町質店新妻長藏方倉庫の窓硝子を破つて忍び入り外套衣類その他八點價五十圓を窃取他に贓却遊興に費消また以前も豊間校に忍び職員室から金二圓の盜みをなせること自白した

新興ダイヤペン付
ウエル萬年筆
一、五〇以上
商工省主催『代用品工業振興展覽會』出品申込の各種代用品一萬數千點中萬年筆としてはウエルたゞ一點嚴重なる鑑査に合格したる新興國策製品
代理店
魁文堂
電話三一三

戰時体制下に於ける緬羊

(1)　本縣緬羊組合佐久間副組合長述

近年農家經濟の向上と國際情勢に基づく羊毛資源確保の見地よりして羊毛自給國策の樹立を見、着々その成果を收めつゝあることは慶ばしき次第であります、

本縣に於て羊毛事業に手を染めて以來過去二十有餘年漸くその頭數約三萬頭を算し全國總頭數の四分の一をしめ微弱ながらも本邦第一位となり今や國策線に乘じ皇國の爲め奉公することを得ますことは當業者諸氏と共に同慶の至りに堪えません、而して軍需羊毛供給より見るに未だ九牛の一毛だに過ぎざる有樣なるは誠に遺憾に堪えざる次第であります、

此の事業たるや日滿支相提携して是が增殖改良に歩を進め軍需羊毛の自給の域に到達せしむるは我々銃後國民に負荷された重大責務でありまして刻下の最大急務と存ずる、今後國費の支出は更に增加するも決して減少は豫感されない、一層の加重と難苦とを累積することを覺悟せねばならぬと思ふ、

此の秋に當り我々當業者は後者をして指導督勵緊褌一番勇激なる增殖に努め以て輸入防遏に聽痒されんことを切望してやまぬ次第であります、

（分娩期に於ける牝緬羊の飼方と仔羊の育て方）

愈よ緬羊の分娩期が近づいた、緬羊の分娩時に於ける牝緬羊の飼育管理とその仔緬羊の成育は緬羊飼育者にとりて極めて大切なものである、

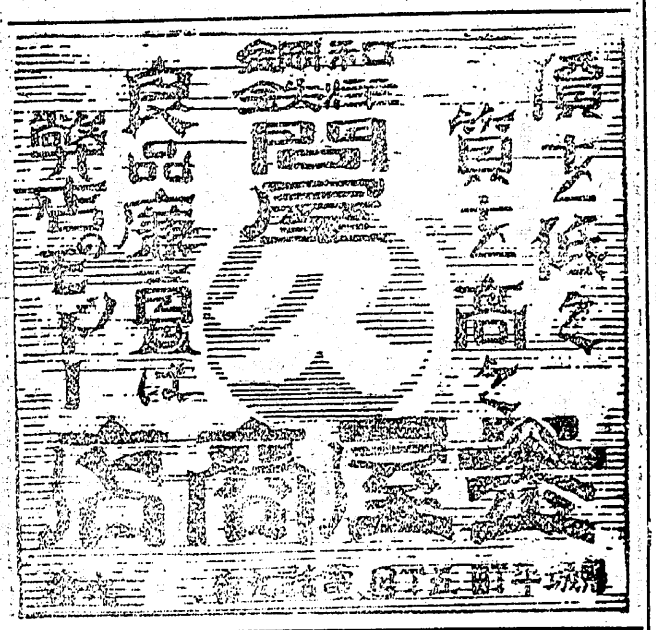
スペインGHN元詰

ゴルフポートワイン

酒荷甘味甘

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

（三電）　西村屋藥舗　（二平）



學生帽子

33……68

ランドセル

皮代用…1、90…3、30
皮　製…3、70…8、50

手提鞄

男子用…　、75…2、70
女子用…1、30…4、00

店内各種陳列

愈々近き嬉しい新入學期

ツルヤ

電一四〇

特にマルトモのランチは材料のおまかせを願つて居るため其の節々のおいしい新鮮な物を御薦め出來ますので御贔屓樣から御好評を蒙つて居ります、

御來店御召上りの時も御來客樣用仕出し等總べて御値段を御示し下すつておまかせ願へますれば季節〳〵の材料で美味快適なものを調理進上出來ますので之また非常に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO

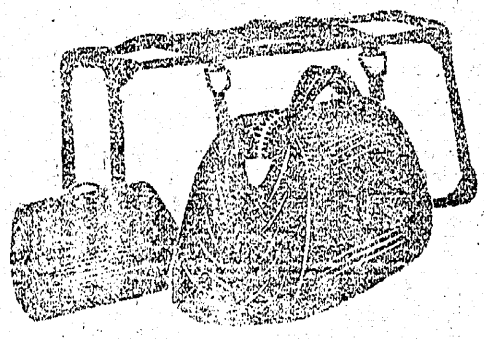
マルトモ食堂　平市停車場通　電話一二三

債券、公債、金融
兩替、

多田井貴店

平市大工町　電話五九一番

類品洋ンバカ



（平市、新道通、驛前）　眞砂屋　（電話五六）

病室增築、手術室完備

産婦人科　醫學博士　五十嵐雄

平市新川町一電話三六九番

診療科目

一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、

一、口腔外科

一、レントゲン科

平市田町（松月堂向と）

中野齒科醫院

電話五〇九番

院長　日本齒科醫學士　中野慈次
日大齒科醫學士　齋谷伍郎
補綴部主任　佐藤重義

新時代の要求

耐寒事業に等外看護婦を特設いたし皆樣の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します、

平市南町　電三〇七　平看護婦會

會長　清野キヨ

御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭

經濟的な御便宜御用命をお願ひ致します

平病院

（平市元共濟病院跡　電話六四一番）

院主　醫學博士　院長　鈴木定藏

小兒科　院長　鈴木定藏
內科　內臟外科　一般外科　副院長　高橋俊幸
皮膚泌尿器科　レントゲン科　物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平

診療時間……毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從來す（急患は此の限りにあらず）